

行政視察報告書

令和 7 年 3 月 31 日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 鋒山紀子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 震災による隆起・瓦礫集積並びに
医療センター全個室状況 行政視察
2. 視察期間 令和 7 年 3 月 27 日（木）～ 3 月 28 日（金）
3. 視察場所及び目的
 - ① 石川 県 輪島 市 ・ 震災による隆起 について
・ 瓦礫集積 について
 - ② 石川 県 加賀 市 ・ 医療センター全個室 について
・ について

4. 調査内容感想等

・視察の目的

石川県・輪島市 震災による隆起と瓦礫集積の現状を視察することにより、認識を深め、学ぶ

石川県・加賀市 医療センター 全個室により医療ニーズに応えるとともにその経過を学ぶ

・視察の内容

輪島市では何度も繰り返し報道されていた、隆起の現場に立ったことにより自然の威力に改めて凄まじさを感じた。また災害瓦礫、仮集積場では広大な

場所に次々と大型ダンプカーで運び込まれている膨大な量の瓦礫に圧倒され
た。災害の大きさを痛感した。加賀市医療センターでは市民とともに、市民中心
の医療を提供されていることを学ぶことができた。時代とともに医療ニーズは
変化する、如何に地域医療を、市民の健康を守っていくのか学ぶことができた

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

輪島市の災害瓦礫、仮集積場をつぶさに視察し、いつ起きてもおかしくない
災害大国日本にあって、本市も例外ではない、一日も早く、かつての日常に戻る
そのために何が必要か、うず高く積もる災害瓦礫、災害ごみをまず片付ける
そこからの出発であるなら、仮集積場をどこに設定するのか、しっかりと考え
なければいけない。加賀市医療センターでは特に感銘を受けたのは、院内に
地域連携センターを設置、「入退院支援部門」と「地域医療連携部門」が連携し
入院前から退院後の生活を見据え、切れ目ない支援を多職種で行っておられる
ことでした。また行政との迅速な連携を図っておられました。患者とその家族は
不安に駆られるものです、そこをサポートすることは大変重要であると思いま
した。本市でも市民に信頼される最適な医療を提供するためにこれからも不断
の努力に務めなければいけないと感じました。
